

2022年度協定留学プログラム  
派遣学生留学状況報告書（最終）

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部／ 研究科                      国際社会科学科／専攻 2年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。  高麗大学校
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2022年 3月 2日 ～ 2022年 6月 21日 出国日                      2022年 2月 20日 最終帰国日                2022年 6月 19日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

## 1. 留学全般について

### （1）留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学開始前は、コロナ禍で不確かな状況であったことに加え、他に学習院大学から高麗大学に留学する学生がいなかったため、留学生活に対してすごく不安を感じていた。しかし、今振り返ると始まってしまえば何とかなるもので、充実した留学生活を送ることができた。

### （2）留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

日常生活において、韓国語はできるに越したことはないと感じた。しかし、私は最後まで初級レベルだったが、何とか暮らしていくことができたので、できなくても大丈夫だと思った。

## 2. 留学先大学について

### （1）留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

自分の行動力次第ということ強く感じた。高麗大学の授業は、学年や留学生のそれぞれに対して定員人数が設定されていて、その中で完全に早い者順で決まる。履修したいと考えていた一つの授業が定員制限で申請することができなかった。しかし、どうしても興味があり受講したいと考えていたため、聴講でも良いので参加させてほしいとの旨を教授に直接連絡したところ、受講の許可がでた。日本の大学では、制度として決まっていることに変更が出ることはほとんどないので、試みようとも考えないかもしれないが、韓国では、珍しくな

く、よく起こりうることのようにだった。良くも悪くも自分次第で決まるようだ。

## (2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

高麗大学に限らず、韓国の大学はどれも広大な敷地に囲まれていて、規模がとても大きい。何度も何度も迷子になり、学生に声をかけて教室まで連れて行ってもらったことも何度もあった。

森の中にあるような大学なので、移動は坂道が多く大変である。さらに、留学生向けの寮が大学敷地内の一番外れの上にあるため、寮で生活していた友人は辛いと言っていた。

大学の地下鉄最寄駅が二つある。授業で利用する建物によってだいぶ距離感が変わるので、通学時には注意が必要である。

## (3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

**語学面：**留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

レベル別の韓国語の授業が週4回開講されている。事前にテストがあるわけではないので、自分がどこに属するのか判断するのが難しかった。授業外で大学附属の語学堂もあるが、授業との時間を合わせるのが難しい。費用は通常の語学堂費用より安いですが、詳細はわかりません。

**生活面：**生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

留学生向けのサークルとして、KUBA という高麗大学の学生が運営する機関がある。留学生は自動的にここに所属する。学期始業前には、KUBA が実施する留学生を対象としたオリエンテーションなどもある。全体では500人以上が所属するため、細かくグループ分けされていて、6.7人の留学生に一人の高麗大学生がバディとなる。従来は、グループごとの食事会や団体全体でのスポーツデーやアクティビティ、文化体験などが活発に行われているようだが、コロナの影響でバディと一対一で何度か食事に行くことしか実現しなかった。ここでの共通言語は、基本的に英語でオリエンテーションも英語で実施された。私のバディはたまたま日本語を学習していたため日本語でもコミュニケーションを取ることができた。学生生活や日常生活での疑問点にすぐ対応してくれて、とても頼りになった。

**資金面：**現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

日本で応募して受給が決定していた奨学金が併給不可であったため、現地での奨学金情報に対する知識がない。

## (4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

大学がある駅は高麗大学以外他の施設が何もなくて、学生街として高麗大学の生徒で毎日賑わっていた。食堂やカフェ、スーパー、ゲームセンター、雑貨屋、コピー屋さんなど学校生活や日常生活に必要なものは何でも揃っている。夜まで開いているお店も多く、治安が悪いという印象は受けなかった。韓国で暮らす日本人 YouTuber やインスタグラマーが通う有名な日本の美容院もあった。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

高麗大学に限らないが、愛校心がとても強かった。学生は、大学のパーカーやスタジャンを毎日着て通学していた。日本の大学とは違った雰囲気を感じられた。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
East Asian politics (3)	東アジア政治 I, II (4)
Contemporary Japan in the popular literature (3)	
Theories of teaching Japanese language (3)	日本語教育 I (4)
Japanese semantics (3)	言語と文化 (4)

### 3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ /  その他 (マンスリーホテル)

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 90 万ウォン、(日本円) 約 9 万円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) /  自炊 /  その他 (外食)

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 /  自転車 /  バス /  地下鉄 /  その他 ( )、計 30 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

できたばかりのホテルであったため、施設に清潔感があり、セキュリティ面も安心だった。また、共用キッチンもあり、定期的な清掃も入るため、自炊も可能でとても過ごしやすい環境だった。

家賃の高さを心配していたが、光熱費や管理費、補償金がいないこと、キッチン用品や家具、家電などの生活用品の購入が不要であったことも考えると、総合的にはそこまで高くはなかったと感じている。

### 4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約、(日本円) 約 円 協定留学のため無

(2) 渡航方法と金額

飛行機 /  船舶 /  その他 ( )、(日本円) 往復 約 9 万円

(3) 生活費 (※宿舎費を含めた金額を記入してください。)

(現地通貨)  月額・年額 約 150 万ウォン、(日本円) 約 15 万円

#### (4) 費用の持参方法

国際キャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード  
現金 / その他 ( )

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

韓国に入国する際に、5万円分をウォンに変えて持っていった。使い切った後は、キャッシュカードで下ろして常時五千円ほど常備していた。キャッシュレス化が進んでいると強調されているが、意外と現金しか使用できないケースも多く、全く持たないと生活が難しいと思う。

#### (5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳 受給していない

### 5. 保険について

#### (1) 保険会社名

東京海上日動火災保険

#### (2) 保険料

42,460円

#### (3) 加入した保険の種類、内容

傷害死亡	¥10,000,000
傷害後遺障害	¥10,000,000
治療・救済費用	¥100,000,000
疾病死亡	¥10,000,000
航空機寄託手荷物遅延等	¥30,000

#### (4) 感想、良かった点・悪かった点

隔離日数の変動でなかなか渡航日が決まらず、ギリギリの申し込みとなってしまったが、早急に対応していただくことができた。

### 6. 荷物について

#### (1) 荷物の送付方法

手荷物 / 船便 / SAL便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ( )

#### (2) 持って行って良かったと思う物

SIMカード

#### (3) 持って行く必要が無かったと思う物

服

#### (4) 持って行けば良かったと思う物

なし 基本的に何でも揃う

### 7. 平日および週末の平均的な過ごし方

### (1) 平日

午前中は韓国語の語学学校に通っていた。午後は、月曜日から木曜日まで大学の授業があった。月曜日と水曜日は、大学の授業が夕飯時に終了するため、友人と大学の周りで食事を済ませることが多かった。火曜日と木曜日は少し早めに授業が終了するため、自宅に戻り自炊をしたり、家の近所の市場で一人でご飯を済ませた。

### (2) 週末

KUBA のバディーや語学交換パートナー、友人と出かけることが多かった。土日の片方を出かけたら、片方は自宅で課題に取り組む日にするなどメリハリをつけて、日常生活と学生生活を楽しんだ。

## 8. 後輩へのアドバイス等

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。